

令和元年度 第4学年 国語科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読むことは、物語文の読解では、文章全体から変容を捉えることが苦手な児童が多い。説明文では、用語の理解や何を読み取ればいいのかを分からない児童が多い。 ・話すこと、聞くことでは、モデル文通りの話し合いにならなかった時に、どうすればいいのか分からなくなってしまうことが多い。 ・書くことは、文章を組み立てる力が弱く、内容がまとまらないことが多い。 ・言語事項は個人差が大きい。漢字や語彙の知識や練習量においても興味関心の大きさにより、結果に差が出ている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・筋道を立てて話すことと、話の中心に気をつけて聞くこと。 ・目的に応じ、内容の中心をとらえて書くこと。 ・既習の漢字の活用及び、言語領域の知識を定着させること。 	
<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと理由を明確にしたり、文章構成を工夫して書き表したりする。 ・段落の要点や段落のつながりの理解し、文章構成を考える。 ・事実と考察の関係を押さえて読んだことを書いてまとめる力。 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・良い話し方、聞き方などのモデルを使用し、児童自身に良さを見つけさせる。 ・説明文の学習では、要点をまとめさせる活動を必ず取り入れたり、文章構成について重点的に指導したりする。 ・漢字や語彙は、興味を持たせる掲示や課題を準備し、興味関心をひくような教材を活用する。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： <u>ウナギのなぞを追って</u></p> <p>指導時間： <u>10</u> 時間 指導時期： <u>1</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係を読み解くために、意味段落ごとに小見出しを付けたり、文章構成図に表したりする。ワークシートには、「はじめ」「中」「終わり」形式段落ごとの要点を書いたものを用意し、一人一人が確実に理解できるようにする。 ・形式段落の要点をつなぐと、要約文になることを伝えたり、要約文の一例を提示したりする。 ・互いに書いた文章を読み合わせ、間違いを正したり、相手や目的を意識した構成になっているか確かめさせたりする活動を取り入れる。

令和元年度 第4学年 社会科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的資料に興味を示す児童が多い。 ・調査活動には意欲的に取り組んでいる。 ・資料を細かく読み取り、自分で解釈することができない。 ・自分の考えをまとめ、表現することが苦手な子が多い。 ・学習した内容を知識として定着できていない。 ・学習した内容について、自分の考えをもつことのできる児童が多い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめ、表現すること。 ・グラフや写真、地図などの資料を細かく読み取り、自分で解釈すること。 	
<p>↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習の問題を解決しようとする態度 ・必要な情報を調べ、まとめる技能 ・資料を読み取り、自分で解釈し、表現する力 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的資料の提示や調査活動などを積極的に行い、児童の社会科への関心や意欲を高められるようにする。 ・丁寧に資料を読み取り、自分で解釈し、表現する機会を多く設定する。 ・学習内容を新聞にまとめる活動を積み重ね、分かったことや考えたことを表現する機会をつくる。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： <u>玉川兄弟と玉川上水</u></p> <p>指導時間： <u>10</u> 時間 指導時期： <u>9</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的資料の提示や児童が「解決したい」という気持ちをもって進んで学習に取り組めるようにする。 ・福生市にもゆかりのある玉川兄弟という発展に尽くした先人に焦点を当て、その苦労や努力を学び、自分の生活に結び付けられるようにする。 ・教科書や本、インターネット等を通して調べる活動を行うとともに、調べたことや考えたこと、学習内容を新聞やパンフレットにまとめ、発表し、伝える活動を行う。 ・上手にまとめている児童の作品を書画カメラで提示し、見本とさせる。

令和元年度 第4学年 算数科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算問題やプリント学習に積極的な児童が多く、早く正確に解ける児童が多くいる。 ・ノートに自分の考えを図や言葉、式などを使ってかくことも、経験を重ねることで徐々に育ちつつあるが課題としてある。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の式を言葉で説明することを苦手とする児童がいる。 ・定規やコンパス、ノート作りなどの基礎的な技能や意欲に個人差がある。 ・問題構成を把握することが難しい児童がいる。 	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に育成すべき【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形についての豊かな感覚。 ・数学的に考えることや数理的な処理のよさに気付き、算数の学習を進んで生活や学習に活用しようとする態度。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりする力。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">【授業改善策】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の際に、簡単な図や補助線をかき活動を取り入れる。 ・自力解決の時間を十分確保し、図・式・言葉を用いて自分の考えを説明する機会を設ける。 ・既習事項に振り返る機会をたくさん設ける。
	<p>実践する単元</p>	<p>単元名： _____ 面積のはかり方と表し方 _____</p> <p>指導時間： _____ 11 _____ 時間 指導時期： _____ 11 _____ 月頃</p>
	<p>単元における具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が行う「陣取りゲーム」で面積が分からない部分をつくるといった、子供にとって必然性のある題材を設定することで、学習に向かう意欲を喚起する。 ・複合図形の求積について、既習知識の長方形や正方形の求積公式を用いて全員が自力解決に向かうことができるように、補助線を引いて図形の見方を変える必要があることを理解できるような場を設定する。 ・効率よく求積できるようになるために、多様な考えが出るような課題を設定し、「個で考える時間→全体で共有する時間」を学習過程に位置付け、児童の考えを比較しながら、共通点や相違点を明らかにする。全体で確認したことを個に下ろしていく中で確かな理解にしていく。

令和元年度 第4学年 理科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察には、意欲的である。 ・観察した内容をまとめる力には個人差が大きい。 ・実験結果から分かることを自分の意見でまとめることが苦手な子が多い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察時には、課題に正対した観点で着目すること。 ・実験結果から分かることを自分の意見でまとめること。 	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力。 ・実験の過程や結果を記録し、学習内容を整理する力。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授業改善策】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら追究していけるように必ず予想をしてから実験に入るようにする。 ・実験結果から考えられることを、グループ等で話し合ったり、キーワードを提示したりしてまとめさせる。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： <u> ものの温度と体積 </u></p> <p>指導時間： <u> 4 </u>時間 指導時期： <u> 1 1 </u>月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容や水や空気に関する生活経験を基に、課題に対する予想を立てさせる。 ・結果から考えられることを話し合い、体積と温度の関係について文章にまとめさせる。

令和元年度 第4学年 音楽科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態> (全般) ・音楽の授業におおむね意欲的に取り組み、明るく素直な反応をする児童が多い。</p> <p>(歌唱) ・積極的な表現ができる児童が多いが、音のまとまりや発声方法などには課題がある。</p> <p>(器楽 主にリコーダー) ・かまえ方など基本的な技能を習得できている児童が多いが、タンギングや運指にまだ慣れていない児童も多い。</p> <p><課題> ・リコーダーの学習が2年目となり、苦手意識をもち始めている児童も多く、器楽学習の幅を広げることによって可能性をひろげていく必要がある。</p>	
<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器や合奏に対する興味・関心・意欲 ・全体の中での自身の役割を意識して参加する態度 ・生涯にわたって音楽を楽しんでいこうとする心情 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>授業改善の 手立て</p>	<p>合奏教材で様々な種類の楽器を使用することによって、自分の得意な楽器を見つけさせ、音楽を楽しむ機会を増やしていく。</p>
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名：<u>いろいろな音のひびきを感じ取ろう（茶色の小びん）</u> 指導時間：<u> 8 </u>時間 指導時期：<u> 10 </u>月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の楽器を使用、体験させることによって、自分の得意な楽器あるいは興味をもてる楽器に出会わせる。 ・リズムが軽快ではっきりした楽曲を選択することによって、楽しみながら合奏の楽しさを感じさせる。 ・自身の技量に関わらず、クラス全体で音楽をつくりあげる達成感を体験させる。

令和元年度 第4学年 図工科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図工室で活動することについては非常に意欲的である。 ・同じ班の児童とアイデアを共有したり、発想や構想を教え合ったりできる児童が多い。 ・授業のめあてと違う行動をとる児童が目立ち、児童同士言い合いになることが多い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のルールを理解や、学習規律の定着が十分でない面がある。 	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組む態度を養う。 ・造形遊びをする活動を通して、材料や用具を適切に扱うことができる。 	
<p>【授業改善策】</p>	<p>↓ 授業改善の手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図工ノートを活用して、作業工程やめあての明確化を来ない、ルールの明確化を行う。 ・新しい材料や用具にふれる機会を増やし、経験の中から安全に授業を受けることを学んでいく。 ・授業の終盤や鑑賞の時間を使って、児童同士の良かった点を紹介する。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： _____ トントンつないで _____</p> <p>指導時間： _____ 6 _____ 時間 指導時期： _____ 10 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図工ノート…工程表を貼らせる。釘、金槌、釘抜きの使い方を解説する。 ・班ごとに話し合い…木材を使って、何がつくれるかを話し合い、造形遊びを通して作品の発想や構想の幅を広げていく。 ・どのようにしたら立体物が完成できるかを考え、完成させたい作品を計画的につくって行く。イメージがわからない児童については、個別で対応する。 (木片、板、釘、金槌、釘抜き、他)

令和元年度 第4学年 体育科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが好きな児童が多い。 ・どの運動にも意欲的に取り組むことができる。 ・技能面での力に差が見られる。 ・動きのポイントを押さえた友達へのアドバイスや、自分の力に合った課題を選ぶことが課題である。 ・勝敗を受け入れたり、互いを認め合ったりする態度は、さらに身に付けていく必要がある。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の動き方や動きのポイントを知り、自分の力に合った課題を選ぶこと。 ・きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたりすること。 	
<p>↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の運動の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に、各動きのポイントを提示する。 ・児童の良い言葉かけや態度を学級全体の場で紹介することで、友達と励まし合って取り組もうとさせる。 ・振り返りをさせることで、次の課題を選ぶ手立てとする。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： _____ 鉄棒運動 _____</p> <p>指導時間： _____ 6 _____ 時間 指導時期： _____ 9 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を決定できるようにするため、技のポイントが分かるように提示をする。 ・友達と励まし合って取り組ませるようにするため、授業での児童の良い言葉かけや態度を学級全体の場で紹介する。 ・授業の終わりにできるようになったことや感想をワークシートや全体の場で発表させることで、自分の現段階の実力を把握するとともに、次に取り組む技を選ぶ手立てとする。